

…っ
クッサ…なんで私がこんなこと…最低…

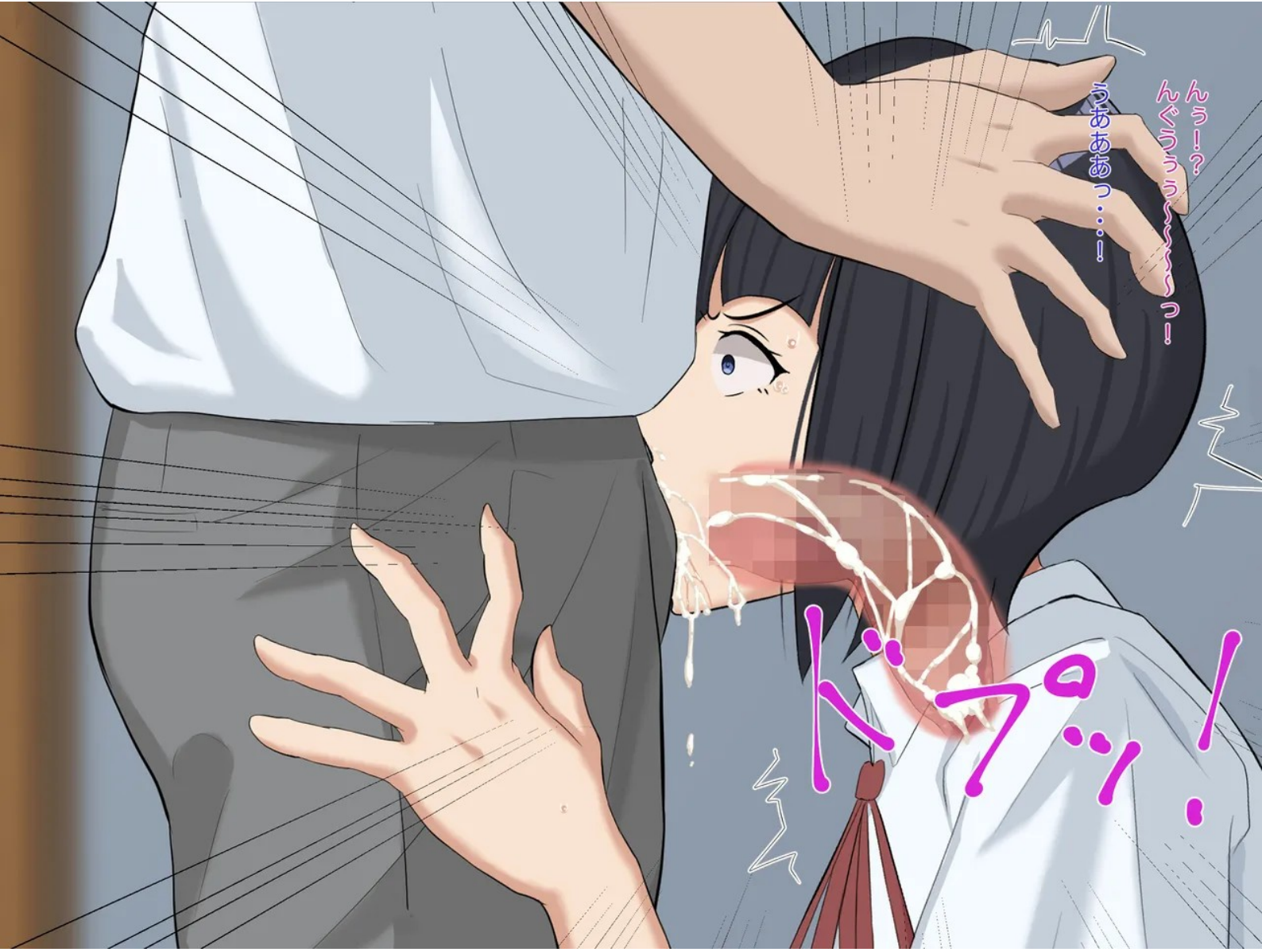
こんなことって…自分がやったことじゃないか
自分がやったことなんだから、自分で責任を取らないとね？

…キモ…なんでこんな人のを…っ！

そう言い、彼女は俺の先端を己の舌でちろりと舐めた。

ムワッ…





んぐっ…げぼっ…おえっ…!!
はぁ…はぁ…はぁ…はぁ…

ああ…はぁ…
ああ〜気持ちよかったよ…ありがとねナツミちゃん…

ああ…今僕の子種がキミの体内で蠢いているんだね…

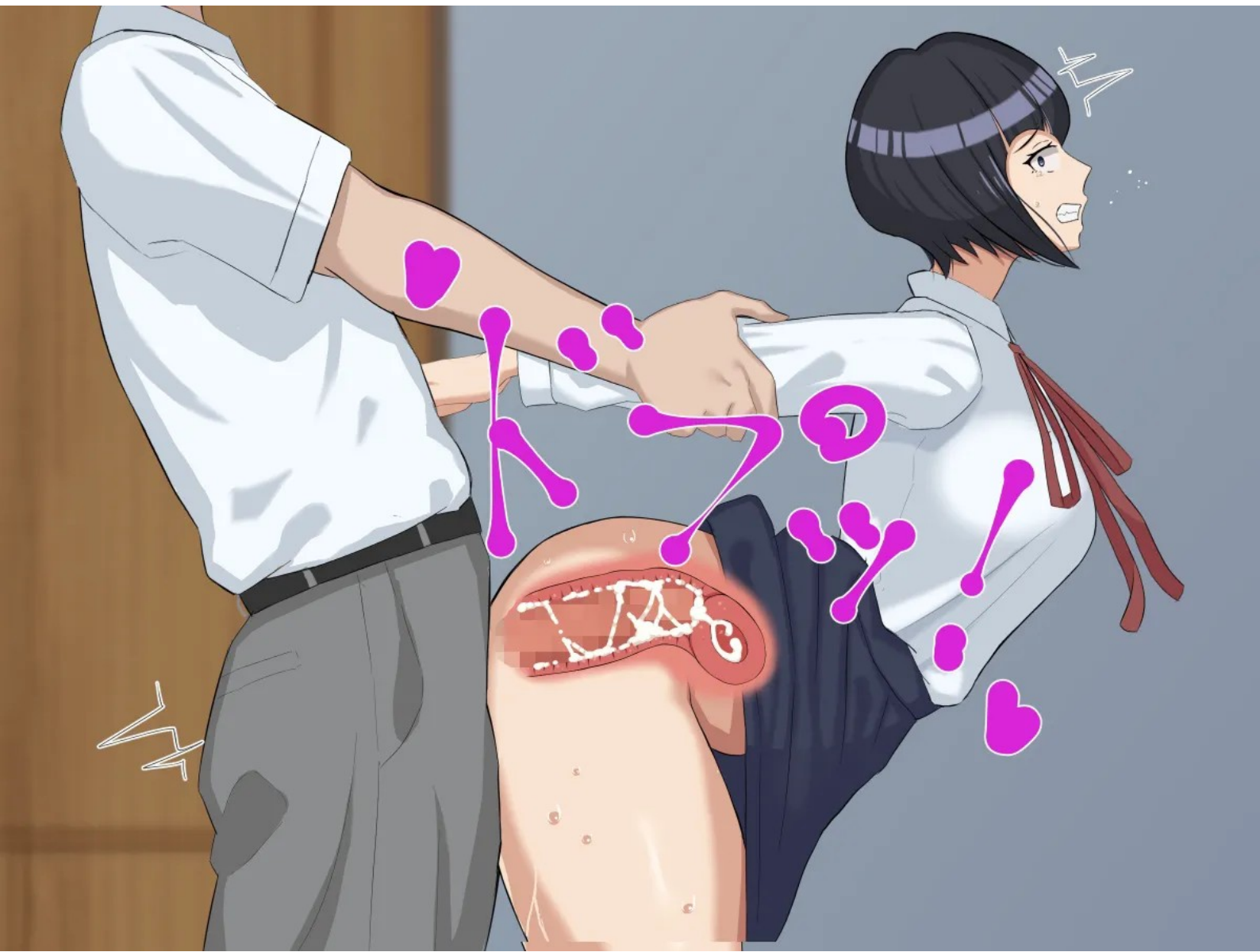
…!?
うっ…んぐっ…んぐっ…!!

おえ…
ドロオ…











…っ
クッサ…なんで私がこんなこと…最低…

こんなことって…自分がやったことじゃないか
自分がやったことなんだから、自分で責任を取らないとね？

…キモ…なんでこんな人のを…っ！

そう言い、彼女は俺の先端を己の舌でちろりと舐めた。

ムワッ…



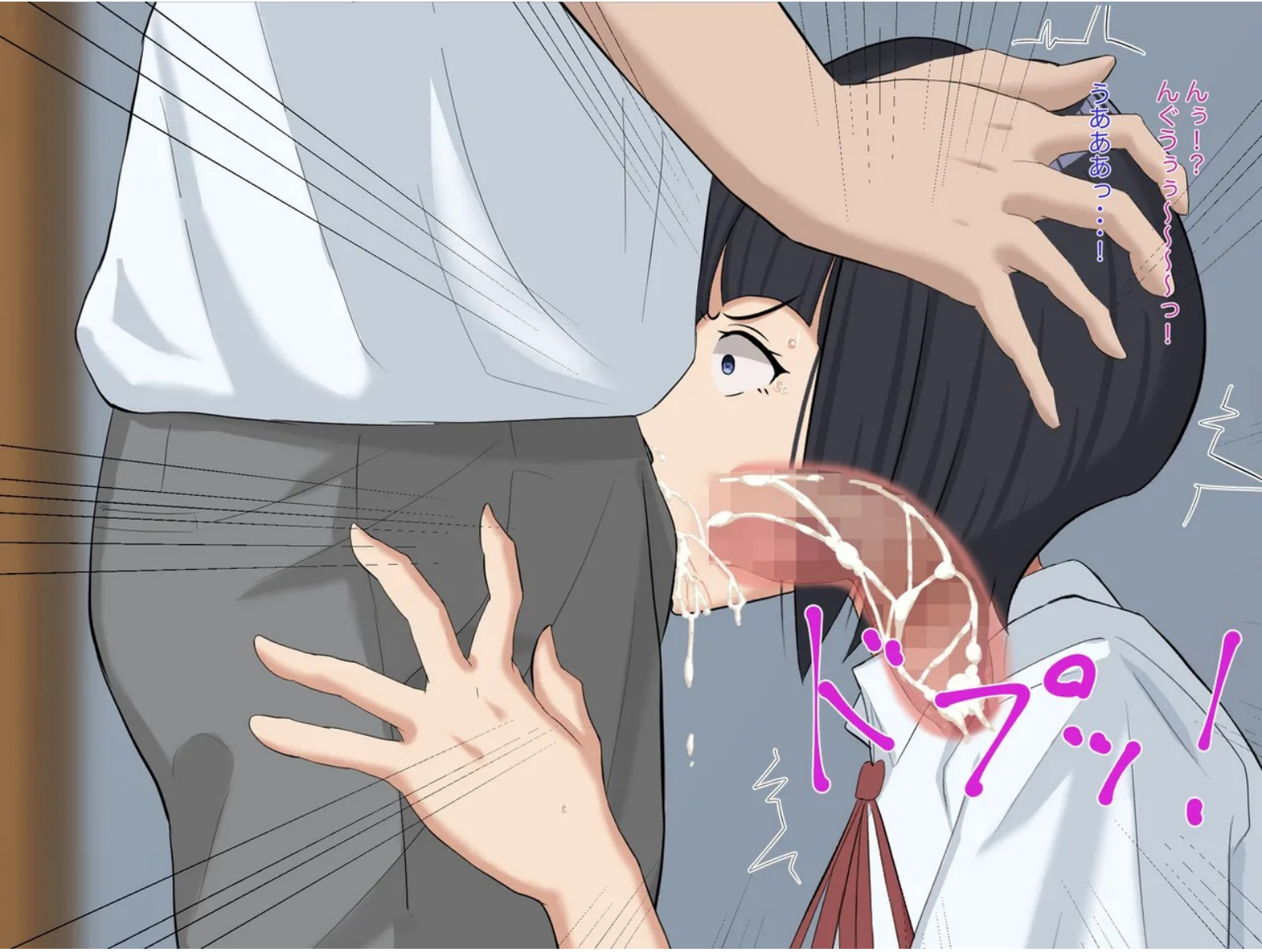
んぐっ……んぐっ……んぐっ……んぐっ……

ああ……んぐっ……
いいね……これだよ……ナツミちゃんの喉気持がいいよ……！
やっぱり使えるものはなんでも使わないとね……！

下腹部に当たる彼女の前髪のがんこが心地いい。
亀頭に感じる上顎の硬い感覚と、柔らかな舌の感覚
密着した部分に空気が入り込む淫靡な水音が
俺の興奮をさらに加速させていく。

ズリユツ！





んぐっ…げぼっ…おえっ…!!
はぁ…はぁ…はぁ…はぁ…

ああ…はぁ…
ああ〜気持ちよかったよ…ありがとねナツミちゃん…

ああ…今僕の子種がキミの体内で蠢いているんだね…

…!?
うっ…んぐっ…んぐっ…!!

おえ…
ドロオ…







